

経営成績サマリー

売上高

(単位：百万円)



40,324
前期比4.2%増

営業利益

(単位：百万円)



2,646
前期比0.1%増

経常利益

(単位：百万円)



2,789
前期比1.1%増

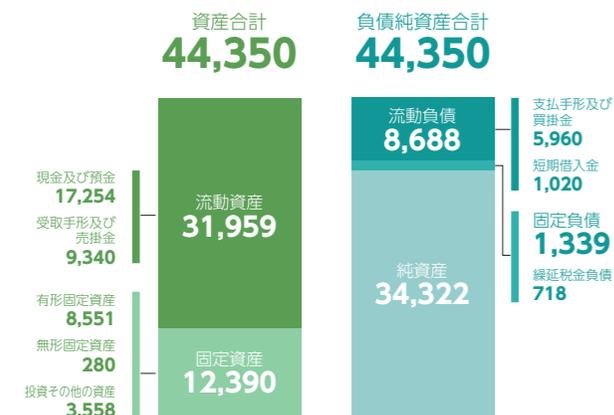
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



2,090
前期比12.4%減

資産の状況 (単位：百万円)



会社の概要

社名 千代田インテグレ株式会社
 設立 1955年9月
 本社所在地 〒104-0044 東京都中央区明石町4-5
 資本金 23億3,156万円
 従業員数 198名(グループ総計 3,743名)
 URL <http://www.chiyoda-i.co.jp/>

役員の内訳 (2019年3月28日現在)

代表取締役会長	小池 光明	取締役	加藤 裕之
代表取締役社長	佐藤 明	取締役	柳沢 勝美
常務取締役	村澤 琢己	取締役	眞下 修
常務取締役	金邊 浩康	常勤監査役	小野塚 茂
取締役	関口 充	監査役	遠藤 克博
取締役	辻 智晴	監査役	菰田 当昭
取締役	村田 功		

株式情報 (2018年12月31日現在)

大株主 (上位10名)

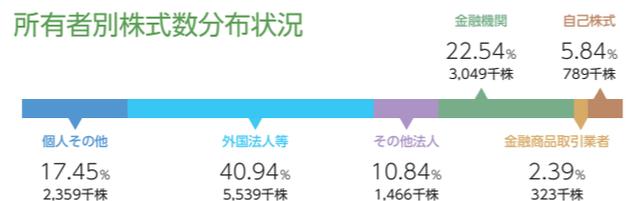
大株主	持株数(株)	持株比率(%)
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	2,937,700	21.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	533,500	3.94
株式会社三菱UFJ銀行	429,000	3.17
日本生命保険相互会社	402,160	2.97
日本毛織株式会社	385,200	2.84
東京中小企業投資育成株式会社	378,020	2.79
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	328,900	2.43
第一生命保険株式会社	304,000	2.24
GOVERNMENT OF NORWAY	289,992	2.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	264,900	1.95

※当社は自己株式789,402株を所有しています。

株式の状況

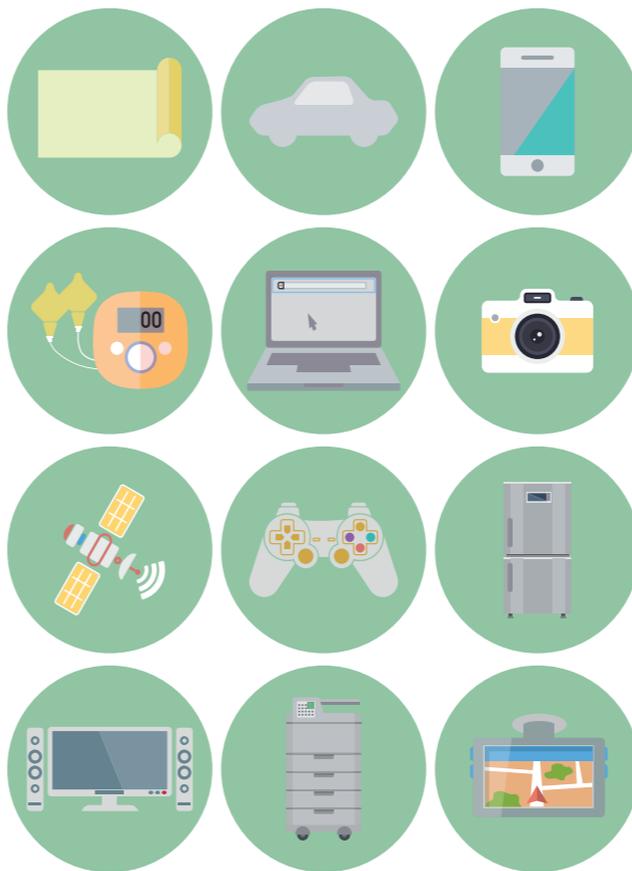
発行可能株式総数/発行済株式総数 32,600,000株/13,528,929株
 株主数 4,612名

所有者別株式数分布状況



第63期 年次報告書

2018年1月1日～2018年12月31日



株主の皆様へ



代表取締役社長
佐藤 明

株主の皆様には、平素より格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当社の第63期(2018年1月1日から2018年12月31日まで)の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況と主要項目につきましてご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当期(2018年12月期)の業績について

当連結会計年度における世界経済は、年初におきましては底堅く推移する見通しでありましたが、米中貿易摩擦の影響が広がり、不透明な状況となりました。米国においては、現政権による経済政策が支えとなり雇用情勢は改善を続け、企業の設備投資や個人消費は堅調に推移いたしました。中国においては、インフラ投資の抑制などにより景気は減速傾向にありますが、他のアジア地域においては、設備投資需要を背景に概ね堅調に推移いたしました。そのため世界経済全体は、堅調に推移したものの、米中貿易摩擦問題や欧州政治を巡る世界経済の不確実性、金融市場の動向の影響から、先行きに対する不透明感を強めており予断を許さない状況でありました。

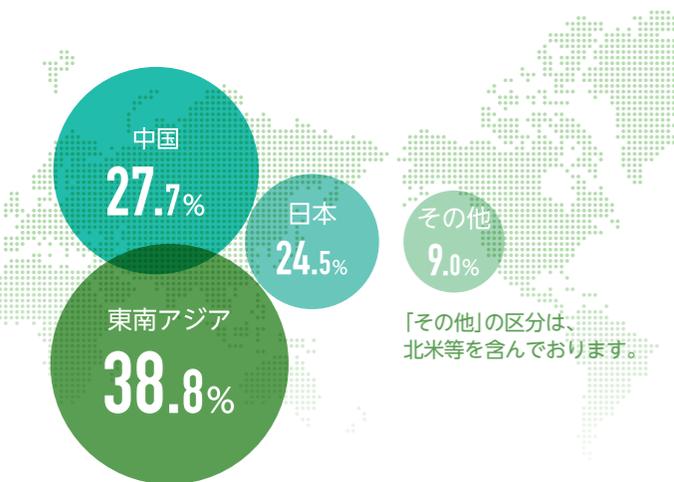
また、我が国経済は、輸出の伸び悩みがあるものの、企業の設備投資や個人消費は好調に推移し、回復基調が続きました。

このような経営環境の中で、当社グループは継続して事業領域(顧客・地域・商品)の拡大に取り組み、利益を生む戦略を推し進めてまいりました。

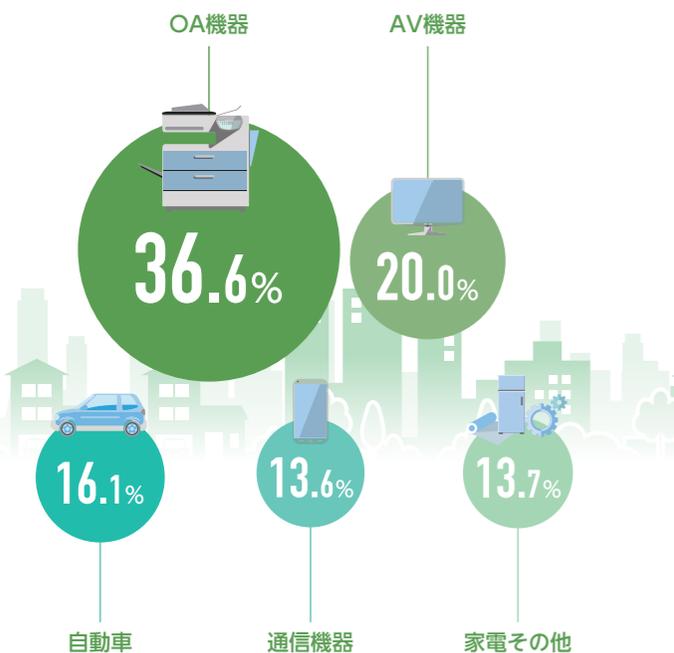
この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は40,324百万円(前期比4.2%増)、営業利益は2,646百万円(前期比0.1%増)、経常利益は2,789百万円(前期比1.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,090百万円(前期比12.4%減)となりました。



地域別売上高構成比



業種別売上高構成比



次期(2019年12月期)の取り組みと見通し

今後の見通しにつきましては、国内景気は堅調な企業業績や消費に支えられ底堅いものの、世界経済は米中貿易摩擦の影響が顕在化し始め、中国・欧州の景気減速が鮮明になり、先行きに対する不透明感を強めるとともに、不確実性が高まり、リスク要因が増加しています。

このような経営環境の中で、当社グループ丸となり、「成熟・成長市場」それぞれを見据えた経営資源の選択と集中を進め、事業領域(顧客・地域・商品)の拡大を加速させることにより、売上を伸ばし利益を生む戦略を展開してまいります。

これらを踏まえ、次期(2019年12月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高42,000百万円、営業利益2,900百万円、経常利益3,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,200百万円を見込んでおります。なお、為替レートは1US\$ = 108円を想定しております。

中期経営計画の策定

当社グループの新しい中期経営計画(2019年12月期~2021年12月期)を策定するとともに、「利益配分に関する基本方針」を定めました。

1 目標とする経営指標

自己資本利益率(ROE)10%以上

2 利益配分に関する基本方針

2019年12月期から2021年12月期までの3期について

- ① 配当性向は50%以上を目処
- ② ROE10%以上を目標として、株価水準や市場環境等を勘案しながら、総還元性向80%を目処とした自己株式の取得を機動的に実施

LOSE UP

千代田インテグレのCSR

チャリティマラソン参加 -Mottainai Run 2018 in Vietnam

2018年10月に、ベトナム ハノイ市内ホアンキエム湖にて、Mottainai Run 2018に当社スタッフ90名が参加しました。日本の文化「もったいない」を広げるチャリティー活動の一環で、交通遺児や交通障害児童を支援することを目的とし、その悲惨さを訴え、交通事故防止のメッセージを発信し、皆で行動をおこすためのチャリティーアクション・ランです。本行事は日越外交関係樹立45周年の公式事業として、総勢約1,300名が参加しました。



CSR委員会活動報告会開催

今期も2018年11月に当社関東事業所(埼玉県草加市)において、CSR委員会活動報告会を開催しました。当委員会は、地域社会貢献・環境保全・雇用労働の分科会で構成され、2006年に発足し、12年目を迎えました。

取り組みを継続することが大切であることを認識し、これからもグループ全体でCSR活動を推進してまいります。



当社ウェブサイトのご案内
事業内容やIR情報などをご覧ください。

<http://www.chiyoda-i.co.jp/>



第63回定時株主総会決議のお知らせ

2019年3月28日開催の当社第63回定時株主総会において、以下の通り報告並びに決議されました。

●報告事項

1. 第63期(2018年1月1日から2018年12月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第63期(2018年1月1日から2018年12月31日まで)計算書類報告の件
本件は、各内容を報告いたしました。

●決議事項

第1号議案：剰余金処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金につきましては1株につき100円と決定いたしました。

第2号議案：取締役10名選任の件

本件は、原案どおり小池光明、佐藤明、村澤琢己、金邊浩康、関口充、辻智晴、村田功、加藤裕之、柳沢勝美、眞下修の10氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案：監査役3名選任の件

本件は、原案どおり小野塚茂、遠藤克博、菰田当昭の3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第4号議案：補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり飯塚貴規氏が選任されました。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
剰余金の配当の基準日	12月31日
定時株主総会	3月
単元株式数	100株
上場金融商品取引所(証券コード)	東京証券取引所(6915)
公告方法	電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL <http://www.chiyoda-i.co.jp/>
株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 照会先 0120-232-711(通話料無料)

株式事務に関するご案内

お手続き内容	お問い合わせ先
●住所・氏名等のご変更 ●単元未満株式の買取請求 ●配当金の受領方法のご指定	口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
●未受領の配当金のご照会 ●郵送物等の発送と返戻 ●その他一般的な株式事務 ●特別口座	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までお問い合わせください。 0120-232-711(通話料無料)